

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

下野大沢駅周辺地区都市再生整備計画

平 成 24 年 3 月 22 日

栃 木 県 日 光 市

都市再生整備計画(第2回変更)

しもつけおおさわえきしゅうへん ち く
下野大沢駅周辺地区

とちぎけん にっこうし
栃木県 日光市

平成24年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	日光市	地区名	下野大沢駅周辺地区	面積	13.0 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標

- 大目標: 社会基盤の整備による下野大沢駅周辺住民の安全性確保と地区間交流の促進や、駅施設新設に伴う利便性の向上。
- 目標1: 公共交通の利用促進を図る環境づくり(西口請願駅舎、駅前広場、駐輪場、駐車場を設置し、市民の生活拠点として駅の役割を高める。)
- 目標2: 地域住民の利便性を向上し人が交流する環境づくり(東西地区の交流を確保したうえで、地域住民の居住環境の向上を図る。)
- 目標3: 安全で快適な生活環境の確保(アクセス道路、駅前通り、ポケットパーク等の整備改善により、交通アクセス条件、交通安全性、歩行者の快適性・防犯の確保を図る。)

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・JR下野大沢駅周辺地区は日光市の南部に位置し、今市地域の新市街地として人口が増加し近年発展してきた地区である。駅東口は駅前広場、駐車場、駐輪場も整備され、公共施設(市出張所、公民館、郵便局、駐在所)も東口に集中している。西口は住宅地として開発は進んでいるものの、東西連絡通路が未整備であり、特に交通弱者(高齢者、身障者、子ども等)にとっては、起伏のある地形も相まって、駅及び東口商業施設、公共施設へのアクセスが非常に不便な状況である。
- ・日光市総合計画(平成20年3月)において、当地区は今市地域に位置し、市内でも希少な人口増加による住居の集積が進む都市ゾーンとして位置づけられている。
- ・下野大沢駅西側は、以前から住宅地の開発・造成が多くみられ、地域住民も駅西口の開設整備及び東西連絡通路の開設を強く望んでいる状況でもある。

課題

- 低炭素化時代、高齢化率が進む時代において、モータリゼーションから公共交通機関への転換が求められている。これらの社会的背景から鉄道駅および周辺整備は市街地の活性化と合わせて、緊急かつ重要な課題である。
- ・駅前広場、東西連絡通路、駅へのアクセス等基盤条件が不備であり、歩行者の線路横断や狭隘な市道は安全性の確保や生活環境に問題を抱えている。
 - ・本地区は基幹道路が未整備な状況であり、緊急車両(消防車、救急車)の通行に支障があり、都市災害に備えての整備も緊急の課題である。
 - ・県都宇都宮市から鉄道で30分程度の本地区は通勤客、通学客の利用が多く、駅東口の駐輪場駐車場も不足している状態である。西口開設に伴い新たな駐輪場、駐車場の整備が望まれている。

将来ビジョン(中長期)

- 人口増加し住宅開発が進む本地区において、都市の結末点として駅西口周辺整備を行い、鉄道利用の利便性向上と地域間交流の促進しやすい環境整備を行い、誰もが暮らしやすく人々を豊かにする施設整備を推進する。
- ・日光市総合計画では、公共交通の利便性向上から、住宅の集積がある駅周辺の整備の必要性が位置づけられている。
 - ・日光市のまちづくり基本施策として、地域間交流を目的とした幹線道路整備や災害などの緊急時に対応できる強いまちづくりの推進及び安全な街の形成が計画方針とされている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 生活環境に対する満足度	%	事業計画地内居住者の日常生活に対する満足度	駅西口や東西自由通路の整備によるまちの機能向上や、公共交通の利用促進により居住者の生活環境の向上を図る。	10	平成20年度	35	平成25年度
2. 有効利用された未利用地の面積	%	事業計画地の区域内における宅地未利用地面積の変化	駅西口は駅前にも関わらず、駅改札口、公共施設が未整備のため空地や未利用地がある。そのため、事業導入により土地利用の促進がなされ、宅地未利用地が有効に利用される。	16	平成20年度	13	平成25年度
3. 地域ボランティアの活動エリア	m ²	地域住民による清掃・防犯活動エリア	安全で快適な生活環境を確保するため、地域住民によるボランティア活動のエリアの拡大を目指す。	1,000	平成20年度	1,600	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(公共交通の利用促進を図る環境づくり) ・公共交通の結末点の整備と駅の利便性を向上するために、西口請願駅舎の整備、駅前広場、駐輪場、駐車場の整備を行う。	基幹事業:西口駐輪場駐車場整備事業 提案事業:公共交通機能強化事業、JR日光線活性化事業
整備方針2(交流する環境づくり) ・駅西口から東口商店街へのアクセス道路となる下野大沢東西線(東西自由通路)を設置し、駅東西地区の交流促進を図り、駅周辺の利便性の向上を図る。	基幹事業:下野大沢駅東西線道路整備事業 提案事業:東西地区交流状況調査
整備方針3(安全で快適な生活環境の確保) ・交通環境改善策として、駅利用者交通と周辺生活道交通とを分離することにより、周辺住民の安全性の向上を図る。 ・歩行者(市民・観光客)の快適性の向上を図るために、下野大沢駅西線(西口駅前通り)を自転車歩行者専用道として整備する。また、桎際～杉の沢線は拡幅し、通路部分を確保することにより安全性を向上させる。線路沿いには緑陰をつくる植栽や駅周辺にはベンチ等を設置し憩いの空間を創出するとともに、ポケットパークを整備し市民や観光客の交流の場となる居心地の良い空間整備を行う。 ・より安全で快適な地域を創出するために、地域ボランティア活動のエリア拡大を図る。	基幹事業:杉ノ沢3号線道路整備事業、下野大沢駅西線道路整備事業、 桎際～杉の沢線道路拡幅事業、ポケットパーク整備事業 提案事業:地元ボランティア組織支援事業
その他 ○モニタリングの実施 地域に根ざした課題や計画ビジョンに明確にし、事業実施途中に事業の進捗状況による効果の発現状況の検証把握し、必要により事業内容の見直しや進め方の工夫改善を行う。事後評価については、事業実施内容の成果の達成度を評価すると共に必要な改善点は実施する。 ○住民参加のプロセス 地域住民やまちづくり組織に事業の啓蒙や協力を得るために事前説明会やワークショップを開催し、事業の過程の説明を行い、住民参加と行政と地域協働のプロセスを確立する。 ○持続的なまちづくり体制の確立 都市再生事業に関する取り組みをきっかけとして、まちづくり組織を強化確立し、事業の期間中はもとより、事業終了後についてもまちづくり体制が継続するような体制づくりを実施する。	

交付対象事業費	688.9	交付限度額	275.5	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		杉ノ沢3号線	日光市	直	延長L=243.4m	21	25	21	23	89.5	89.5	89.5		89.5
道路		下野大沢駅西線	日光市	直	延長L=227.9m	21	24	21	23	60.3	60.3	60.3		60.3
道路		下野大沢駅東西線	日光市	直	延長L=80.4m	21	25	21	25	370	370	370		370
道路		西口駅前広場	日光市	直	面積A=978㎡	21	22	21	22	48.1	48.1	48.1		48.1
道路		榎原～杉の沢線	日光市	直	延長L=140.0m	22	23	22	25	60.5	60.5	60.5		60.5
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		駐輪場・駐車場・ポケットパーク・案内サイン	日光市	直	—	23	24	23	25	33.5	33.5	33.5		33.5
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地	拠点開発型													
総合整備	沿道等整備型													
事業	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										661.9	661.9	661.9	0.0	661.9

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負分担	うち民負分担	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	公共交通機能強化事業		日光市	直		21	22	21	22	21.1	21.1	21.1		21.1
	JR日光線活性化事業		日光市	直		21	21	21	21	2.1	2.1	2.1		2.1
事業活用調査	東西地区交流状況調査	—	日光市	直	—	25	25	25	25	3	3	3		0
		—			—									3
まちづくり活動推進事業	地元ボランティア組織支援事業	—	日光市	直	—	21	25	22	25	0.8	0.8	0.8		0
		—			—									0
合計										27.0	27.0	27.0	0.0	27.0

[illegible]

都市再生整備計画の区域

下野大沢駅周辺地区(栃木県日光市)

面積

13.0 ha

区域

日光市土沢、木和田島地内

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



